

石狩市教育予算要望委員会 報告

予算要望グループ村井さんからの報告です。

1, 第1回 石狩市教育予算要望委員会 報告について

「平成29年度 継続課題」

- 1, 予算要望の進め方については前年度の成果を踏まえて要求方式を更に進め、より実効性のある方向へ改善を図っていく事がのぞまれる。
- 2, 各機関の負担金については、各機関の協力を受け前年度と同額で運用を図る事ができた。次年度も今年度と同額で運用を図る。次年度も調査費を削減して旅費を計上することとする。
- 3, 予算要望委員会の構成メンバーは例年通り各機関代表とする。
- 4, 委員会の立ち上げを5月頃に行い、11月中に予算要望書を配布し、2月に市教委からの回答をいただく
- 5, 予算要望書については各校分1部印刷する。各校・各機関代表者で保管した会議に持参する。

機関構成メンバー一覧

	役職	氏名	所属団体・役職	所属学校
	委員長	佐藤 秀人	校長会	江南小
	副委員長	簗島 祐二	校長会	浜益小
	事務局長・会計	阿部 由里香	教頭会	八幡小
	事務局次長	山本 武	教頭会	双葉小
	委員	安榮 智裕	教頭会	樽川中
	委員	阿部 紀江	校長会	生振小
	委員	村井 誠	事務職員	石狩中
	委員	小野 豪士	石教振	樽川中
	委員	足立 敬	特別支援併設校	緑苑台小
	委員	深澤 健太	支会	花川南小
	委員	松本 広徳	市P連	花川南小

	委員	森部 未菜	中体連	花川中
	委員会窓口	古屋 昇一	総務課	

2, 平成 29 年度教育予算要望

(1) 業務推進方針

- ・平成 30 年度の教育予算要望に関し、内容と資料収集の方法やまとめ方について吟味し、効率的な業務推進を図る。
- ・関係機関（各学校、校長会、教頭会、石振教、市 P 連、支会及び教育委員会）と連携を図りながら業務を遂行する。

(2) 業務内容

- ・本年度教育予算要望状況の把握
- ・平成 30 年度教育予算要望内容と検討と資料作成
- ・重点要望内容のまとめ方の検討と要望書の作成
- ・教育予算要望活動

(3) 要望書のまとめ方

- ・「要望書」と「資料編」に分ける
- ・「要望書」「各学校ランキング表」「職員配置・特色ある学校経営施策」は事務局で作成しそれ以外は各団体で分担し作成する。
- ・「要望書」については、市教委との連携を密にして、予算要望委員会の要望事項ができる限り達成できる方向に進められよう内容とする。
- ・「要望書」「資料編」については重点化を図る。

H29 年度の重点要望（参考資料）

1, 学力向上 「貧困」層に対する支援

2, 図書館施設及び支援体制の充実 蔵書・司書

3, ICT 機器関連教育整備及び活用支援体制

4, 特色ある教育を目指し奨励プログラムの推進

5, 体力向上 運動・スポーツ環境の充実と支援体制の充実

中学校「武道」「ソフトボール」設備の充実

6, いじめ・不登校 特別支援教育の体制

7, 地域の教育力を生かす取り組み(外部団体)

8, 学校環境整備 トイレ洋式化 体育館ポリウレタン塗装年度計画

3, 各学校の視察・設備調査

10月中

第2回 石狩市教育予算要望委員会 報告

1, 集計した各学校 教育団体等からのデータを集計印刷製本をしたものの要約説明

- ・各団体膨大な量の資料のため要点を絞って話すが、資料に目を通すのがやっとなので、どこが本当に必要なのか伝わりにくかった。
- ・当然事務職員部会もあまり長く説明するわけにもいかず、財政基盤強化のための必要経費分印刷費関係予算増額と保護者負担軽減のための特定教材・テスト等の公費化を話して終わる。(昨年度以降予算が付き始めている部分については継続要望として伝える)

最初のページに各項目の要望を目立つように箇条書きにする。

2, 今年度重点項目協議に課題

ア、平成 30 年度教育予算要望内容(重点要望事項)を協議するが時間がなく、変更点等があっても持ち帰って協議する時間がない。

事務局に第 1 回委員会にて重要事項項目については協議し持ち帰って再協議できるように申し出をする。

イ、従来の重点要望事項の内容構成をみると事務職員独自案件についての関連項目がない。

きちんと事務職員部が考えて原案を出す必要がある。

ウ、要望の趣旨についても同様である。

ちなみに重点要望事項は昨年度の原文がほぼそのままコピーされている。

この背景からわかる課題

教育予算要望書作成のスタンスの問題(やっつけ仕事の一つであることがありあり)なんとかこの状況を少しでも変える必要がある。

(重点要望の集約の方法 事務職員の関わり)

教育委員会担当に要望書の内容について説明するのは事務局である。きちんと内容を説明できているのかどうか。

委員長 事務局長が教育長に説明 この後教育委員会担当部署と財政課が協議

3. 今後の日程

- 1, 8月21日 予算要望調査 USB 提出期限
- 2, 9月11日 第二回予算要望委員会
- 3, 9月14日 すべての原稿締め切り
- 4, 9月下旬から10月中現地調査聞き取り
- 5, 11月中旬 教育予算要望書提出
(委員長 事務局長⇒教育長へ それ以降財政課と協議)
- 6, 2月26日 第三回予算要望委員会(予算要望回答)

村井さん、大変ご苦労様でした。予算要望委員会の雰囲気や課題がよく分かる報告でした。ちなみに「ちなみに重点要望事項は昨年度の原文がほぼそのままコピーされている。」の下りですが、以前も一度、事務部会として重点要望事項を変更したのに、前文が昨年のものでそのまま使われてしまったことがありました。その時も部会としては強く遺憾表明をしたと記憶しております。隅から隅まで目を通す人は一握りかもしれませんが、予算要望書には私たちの日頃の仕事の積み重ねが詰まっているのですから、大切にしなければいけないと改めて考えさせられました。(事務局)